

情報開示認定機関
一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会
(ASPIC)

法人名称等の変更について

一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会（略称:ASPIC、東京都品川西五反田 7-3-1 会長:河合輝欣）は、令和2年4月1日に「特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアム」（略称:ASPIC）から法人名称等の変更を行いました。

1. 背景

現在、第四次産業革命の真っ只中にあり、AI、ビッグデータ、IoT、ロボットといったイノベーションが経済社会の有り様を一変させています。イノベーションにより、様々な社会課題を解決し、私達の暮らしをより安心でより豊かなものとする可能性に満ちています。こうした Society5.0を世界に先駆けて実現することこそが、我が国の未来を築く成長戦略として政府が推進しています。この新しいイノベーション、AI、ビッグデータ、IoT、ロボットを支えるインフラがクラウドサービスとなっており、正にクラウド産業が Society5.0を支える社会インフラになっています。

2. 目的

このような環境の中、ASPIC は特定非営利活動法人から一般社団法人に名称変更等を行い、ASPIC創立以来20年の事業活動の実績をもとに、第二の創業期と位置付け、AI・IoT 分野への事業内容の充実、拡大を図り、クラウド産業業界の一層の拡大、発展、クラウド市場の創造、情報基盤の確立、企業の生産性向上に寄与し、持続可能な豊かな社会の実現と国際社会に貢献していきます。ASPIC は、Society5.0の実現に貢献し、より一層存在感のある法人としていきます。

3. ASPIC20年の活動

ASPIC はクラウドサービス(ASP)の黎明期である1999年に、業界唯一の団体として創立以来、昨年2019年11月に、20周年を迎えることが出来ました。これも偏に総務省をはじめ関係者の皆様の厚い御指導、御支援の賜物と御礼申し上げます。20年にわたり、ASP・SaaS・クラウドの「普及促進・市場拡大」及び「安心・安全」を2大目標として、取り組んできました。

①ASP・SaaS・クラウドの認知度の向上

事業者、利用者に対するセミナーの開催、白書等刊行物の発刊による情報発信

②ASP・SaaS・クラウドの市場の創成・拡大

分野別クラウド研究会の開催、国等への提言、調査研究、委員会への参画等による普及促進・市場拡大への貢献した。

③クラウドサービスの安心安全の推進

- ・総務省と合同・連携による「ASP・SaaS・クラウドの普及促進協議会」「データセンター促進協議会」の開催（28回）
- ・クラウド事業者向け、利用者向けの28のガイドラインおよび情報開示指針の策定（協議会で）
- ・クラウドサービスの情報開示認定制度の創設、運営（259サービスの認定）

等により安心安全なクラウドサービスの推進に貢献した。

④クラウド事業者へのビジネス支援

ASPIC クラウドアワード(13 回開催) 、分野別クラウド研究会(年間24回開催)

ビジネス交流会、情報提供(年間94回)

等により、会員、クラウド事業者のビジネス推進・拡大に貢献した。

⑤クラウド利用者向けのクラウドサービスの紹介

事業者からのクラウドサービスを紹介サイト(アスピーク)に掲載し、

利用者のビジネス支援、事業者のビジネス支援を推進した。

⑥IoT、AI、クラウドサービスの市場の創造

・IoT セキュリティガイドラインと情報開示指針の策定及び

IoT 情報開示認定制度の創設

・総務省の実証事業、実装事業への参画

IoT・AIを駆使した認知症対応型実証、ビッグデータ活用 による認知症対応型

IoT サービス実装事業の実施

等により安心安全なIoT、AIクラウドサービス市場の創造を推進した。

これらの活動により、2008 年に団体として、又 2012 年年に河合会長が個人として 総務大臣表彰を受賞しました。

今後ともIoT、AIクラウドサービスの安心安全な市場創造を行って参りますので、引き続き ASPIC へのご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

▶ 別紙1:ASPIC 活動年表、別紙 2:ASPIC の活動概要

《変更後の名称等》

名称:一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会(ASPIC)

代表:会長 河合 輝欣

住所:東京都品川区西五反田 7-3-1 たつみビル2F

《お問い合わせ先》

一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会(ASPIC)事務局

担当::高橋、矢嶋

E-mail: office@aspicjapan.org

〒141-0031

東京都品川区西五反田 7-3-1 たつみビル2F

TEL: 03-6662-6591 / FAX:03-6662-6347

URL: <https://www.aspicjapan.org/>

ASPICの活動年表

1999年	11月	任意団体「ASPインダストリ・コンソーシアム・ジャパン」創立(創立メンバー85社)
2000年	10月	ASPICのミーティング開催(以降年2回開催)
2002年	2月	特定非営利活動法人(NPO)の認証取得
2003年	3月	総務省「公共ITにおけるアウトソーシングに関するガイドライン」公表(ASPIC作成協力)
2003年	4月	「2003年版ASP白書」作成・出版(2004年、2005年白書作成)
2007年	2月	国内初の「第1回ASP・SaaSクラウドアワード」開催(以降13回開催)
2007年	4月	総務省と合同で「ASP・SaaS普及促進協議会」設立(以降28回の委員会を開催) (ASP・SaaSの普及促進施策の展開)
2007年	8月	河合会長が総務省情報通信審議会専門委員に任命(~2009年1月)
2008年	1月	総務省「ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策ガイドライン」公表 (以降、ASP・SaaS普及促進協議会で28のガイドライン、情報開示指針を策定)
2008年	3月	法人名称変更「特定非営利活動法人ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム」(SaaSを付与)
2008年	4月	「ASP・SaaS安全・信頼性情報開示認定制度」の創設 (認定機関:FMMC、認定実務:ASPIC)
2008年	5月	「ASP・SaaSイノベーションシンポジウム」開催(以降7回開催)
2008年	6月	平成20年度「電波の日・情報通信月間」にてASPICが団体として「総務大臣表彰」受賞 (ASP・SaaSの利活用、情報開示指針の策定並びにASP・SaaSの普及促進策で情報通信の発展に多大に貢献)
2009年	2月	総務省と連携して「ASP・SaaS データセンター促進協議会」設立 (データセンタの発展、利用拡大策)
2009年	8月	「ASP・SaaS白書2009/2010」作成・出版
2010年	3月	ユビキタス特区事業(ASP・SaaSを活用した地域医療、連携プラットフォームの事業化の実証実験)
2011年	9月	法人名称変更「特定非営利活動法人ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム」(クラウドを付与)
2012年	6月	平成24年度「電波の日・情報通信月間」にて河合会長が個人として「総務大臣表彰」受賞 (ガイドラインの策定並びに情報通信の利活用の推進)
2012年	8月	「IaaS・PaaSの安全・信頼性情報開示認定制度」及び「データセンターの安全・信頼性情報開示認定制度」の新設
2013年	1月	ミッション・ビジョン策定
2015年	2月	ASPIC創立15周年式典の開催
2015年	10月	ASPIC15年史発行
2016年	8月	法人名称変更「特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアム」(IoTを付与)
2017年	8月	総務省 IoTサービス創出支援実証事業への参画 (IoT、AIを駆使した認知症対応型実証事業)
2017年	10月	ASP・SaaS情報開示認定サービスの高度化開始 「医療情報ASP・SaaS」、「特定個人情報ASP・SaaS」に係る情報開示認定制度 新設
2017年	10月	クラウドサービス情報開示認定機関として運営(FMMCからASPICへ移管)
2018年	7月	クラウドサービス提供における情報セキュリティガイドラインの改訂
2018年	10月	総務省 地域IoT実装事業への参画 (ビッグデータ活用による認知症対応型IoTサービス)
2018年	12月	IoTクラウドサービスの情報開示認定制度の開始
2019年	4月	クラウドサービス紹介サービス「アスピック」の運用開始
2020年	4月	法人名称等変更「一般社団法人ASP・SaaS・AI・IoT クラウド 産業協会」(AIを付与)

ASPIC の活動概要

1. ASP・SaaS・クラウドの認知度の向上

- ① フォーラム(7回)、セミナー(31回)の開催とASP・SaaSクラウド白書(4冊)、ASP構築ガイド等、刊行物の発行等を行った。「所有から利用」につながるASP・SaaSクラウドの認知を図った
- ② ASP・SaaSクラウドの体系図の策定を行った。
等の活動により「所有から利用」に繋がるASP・SaaSクラウドの認知度の向上を図った。

2. ASP・SaaS・クラウドの市場の創成・拡大

- ① ASPICのクラウド研究会で新たなるサービス、技術への共通課題事例の抽出を行い、会員ビジネスへのフィードバックを行うと共に、研究成果を国、自治体の政策やクラウドの導入ガイドライン等への提案を行った。
- ② 国の進めるクラウド関連の委員会への参画
総務省 情報通信審議会への参画
総務省、経済産業省「クラウドサービスの安全性評価に関する検討会」への参画
等の活動により「市場の創成・拡大を行った。

3. クラウドサービスの安心安全の推進

- ① 総務省とASPIC合同の「ASP・SaaSクラウド普及促進協議会」並びに総務省と連携した「データセンター促進協議会」を立ち上げた。
- ② 協議会の委員会(28回開催)で大学、クラウド事業者、有識者等の参画を得て
・クラウド事業者向け、クラウド利用者向けにクラウド共通分野/医療、自治体等の分野毎の28のガイドライン・情報開示指針を策定した。
- ③ クラウドサービス情報開示指針を策定し、クラウドサービス情報開示認定制度の検討及びASP・SaaS、医療情報ASP・SaaS、特定個人情報ASP・SaaS、ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)、IaaS・PaaS、IaaS・PaaS(IoTクラウドサービス)、データセンターの7制度を立ち上げた。これまでに認定されたサービスの総数は259サービス、177事業者に上る。
- ③ これらにより、1)クラウドサービスの安心・安全な提供に寄与し、2)ガイドラインにより医療情報が外部保存が可能となり、市場拡大が図れ、3)情報セキュリティ対策ガイドラインに準じたクラウドサービス情報開示認定制度の立ち上げ等により、安心・安全なクラウドサービスの推進を行った。
- ⑤ これらの活動に対して、2008年にASPICが団体として(ASP・SaaSの利活用、情報開示指針の策定並びにASP・SaaSの普及促進策で情報通信の発展に多大に貢献)、2012年に河合会長が個人として(ガイドラインの策定並びに情報通信の利活用の推進)「情報通信月間 総務大臣表彰」を受賞した。

4. クラウド事業者へのビジネス支援

- ① ASPIC IoT・AI・クラウドアワードの開催(13年間で1200エントリー、480サービス表彰、最優秀賞は総務大臣表彰)
- ② 分野別クラウド研究会(年間24回、毎年700~800人が参加)
- ③ クラウド関連の情報提供(年間94回)
- ④ クラウドビジネス交流会、会員交流会等を行いクラウド事業者のビジネス支援を行った。
等の活動によりクラウド事業者のビジネス推進・拡大に貢献した。

5. クラウド利用者向けのクラウドサービス紹介事業

ASPICのこれまでの知見などから利用者に対しクラウドサービスの紹介を行うことにより、利用者増、市場の拡大を推進し、クラウド事業者のビジネスを支援した。

6. IoT、AI、クラウドサービスの市場の創造

- ①IoTクラウドサービスのリスク対応方針の策定、IoTクラウドサービスの情報開示指針の策定、IoTクラウドサービスの情報開示認定制度の立ち上げを行った。
- ②会員企業と共同で、IoT・AIを駆使した認知症対応型総務省実証事業、ビッグデータ活用による認知症対応型IoTサービス総務省実装事業に応募し、IoT、AIによる認知症患者のBPSDの発症を削減する社会的な課題に取り組んだ。
等によりIoT、AIクラウドサービス市場の創造を推進に貢献した。

以上